

4 - 2 東海地方の上下変動(2)

Vertical Movements in Tokai District (2)

国土地理院 測地部・地殻活動調査室
Geodetic Division and Crustal
Activity Research Office,
Geographical Survey Institute

第1図は1889年～1967年間に行なわれた水準測量の結果¹⁾²⁾をまとめたものである。濃尾平野と駿河湾西岸の沈降，その中間地域の隆起というパターンである。濃尾平野の大きな沈降は地盤沈下によるものであろうが，駿河湾西岸は第四紀を通じて沈降を続けており，構造的なものであろう。一方，隆起地域は中央構造線と糸魚川～静岡構造線に囲まれた地域であり，構造的な隆起であらう¹⁾。

次に御前崎地域での一等水準測量の結果を報告する。今回は1970年に行なわれている³⁾ので，3年間の変動，および1962年の二等水準測量結果による1970年までの8年間の変動が求められた。

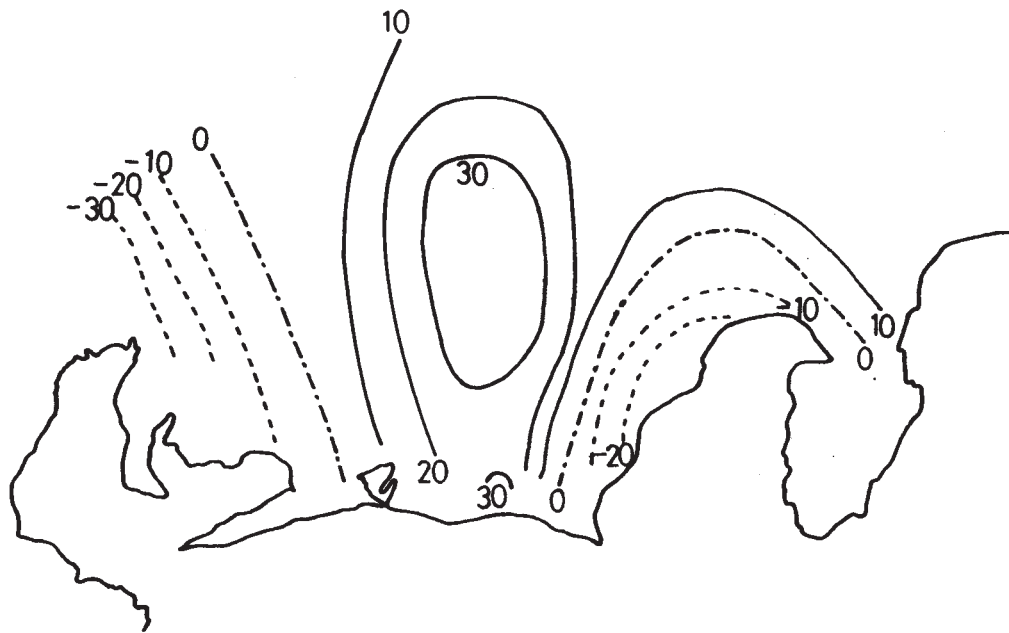
第2図は1962～1970年，第3図は1970～1973年間の上下変動図である。精度が異なるので厳密には比較することに問題があるが，最近約10年間のこの地域の上下変動の傾向は変化していないと思われる。焼津・大井川河口を中心とした沈降地域がみとめられるが，これは前述のごとく第1図の中にもみとめられる。

参 考 文 献

- 1) 檀原 毅，日本における過去60年間の上下変動Ⅳ．中部地方，測地学会誌，13，66 - 74，1968.
- 2) 国土地理院地殻活動調査室，東海地方の地殻上下変動，地震予知連絡会会報，2，49 - 53，1970.
- 3) 国土地理院測地部，最近の御前崎地区における地殻の上下変動，地震予知連絡会会報，4，41 - 43，1970.

1889 ~ 1967

unit : cm



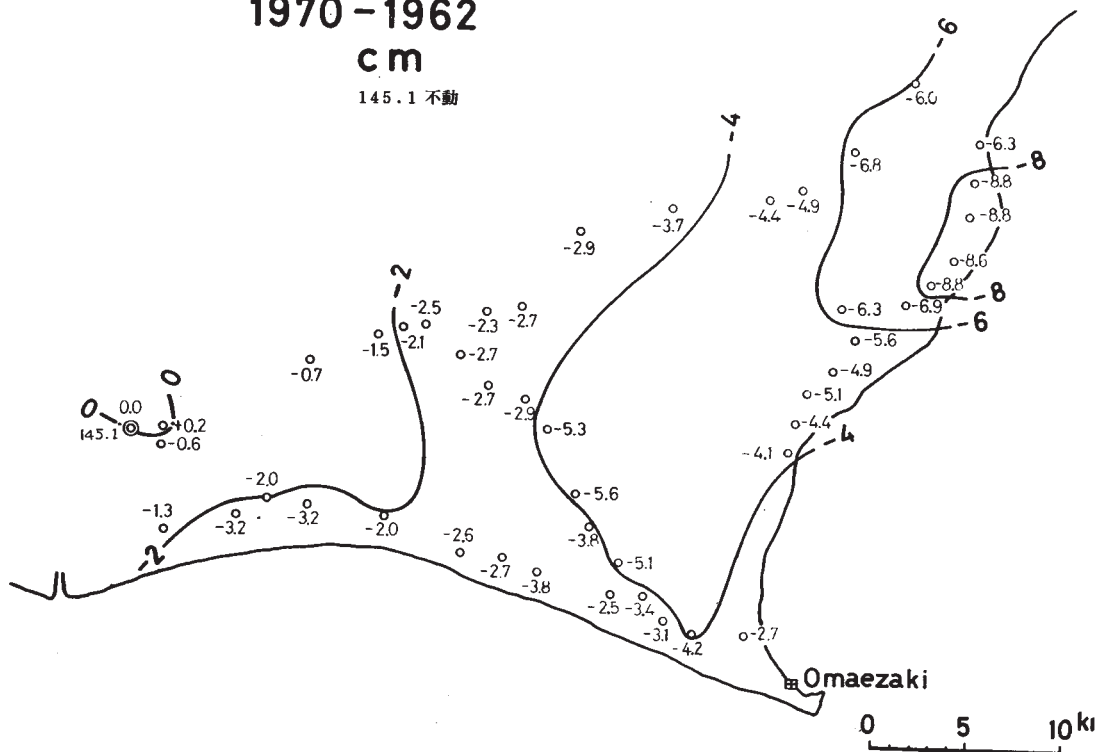
第1図 1889年～1967年間の東海地方の上下変動

Fig. 1 Vertical movement in Tokai district for 1889 ~ 1967.

1970 - 1962

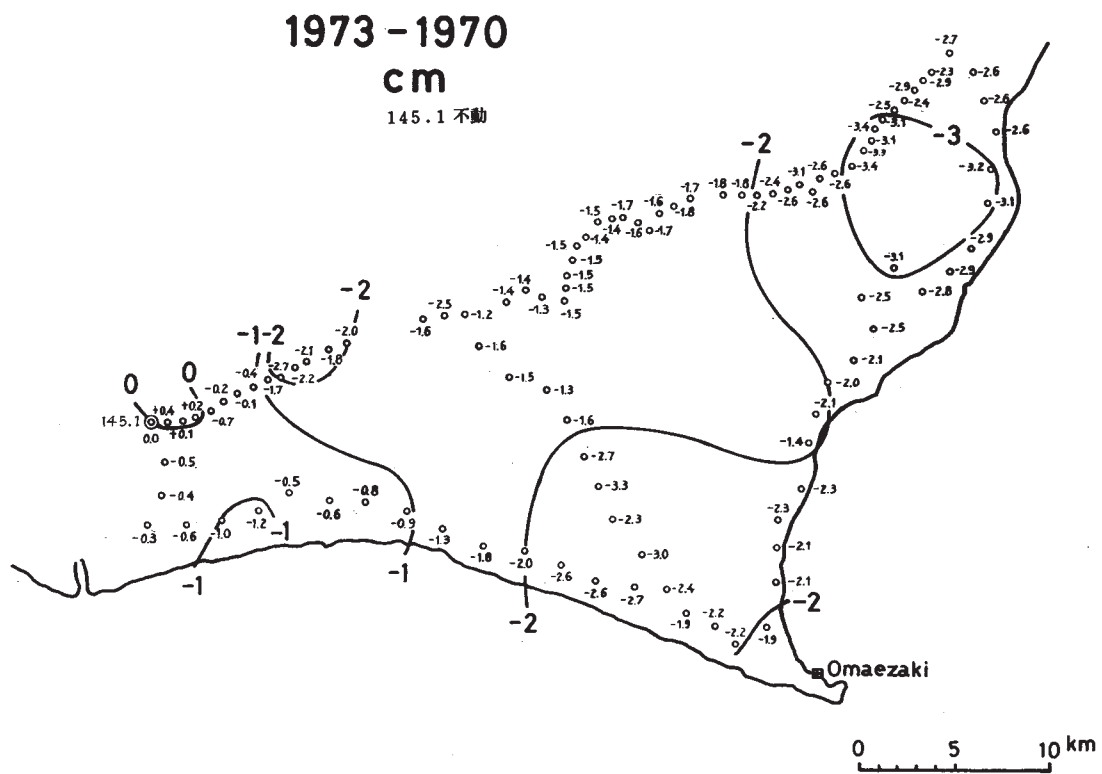
cm

145.1 不動



第2図 御前崎地方の上下変動 (1962 ~ 1970)

Fig. 2 Vertical movement in Omaezaki region for 1962 ~ 1970.



第3図 御前崎地方の上下変動（1970～1973）

Fig. 3 Vertical movement in Omaezaki region for 1970 ~ 1973.